

知事回答に対する質問書

2018年2月9日

佐賀県知事 山口祥義 様

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
プルサーマルと佐賀県の100年を考える会
玄海原発反対からつ事務所

山口知事は、原発再稼働同意の理由に「熟慮に熟慮を重ねた結果、現状においてはやむを得ない」と発言しています。

私たちは、2017年11月9日の副知事との面談時に、「原発は命の問題。命のことなのに、なぜやむを得ないのか」と質問しました。12月25日付で回答書が来ましたが、まったく納得できるような内容ではありませんでした。

そこで、再度質問します。

回答書は4月24日の同意会見時の発言をほぼそのまま貼り付けてあるだけでした。同意前の経過について触れた上で、「…総合的に勘案し、今回の再稼働についてはやむを得ないと判断した」とありますが、「総合的」という抽象的な言葉では何の事か解りません。

県民はただ安心して暮らしたいだけです。原発事故は住民の命と健康と安心を奪うのだと東京電力福島第一原発事故は教えてくれたはずです。山口知事は「やむを得ず再稼働」というのなら、それは私たちのような原発に不安を抱いている県民の不安を無視し、命を踏みにじるということ。私たちは、九州電力の事故で被ばくしていいと言っていない。

なぜ九州電力の経営のために、住民が放射能被ばくを一方的に受けなければならないのか、なぜ「やむを得ない」と言えるのか、県民を守る立場の知事の回答を求めます。